

紅陵

御挨拶

校長 木澤 朗



令和5、6年度の2年間、
土岐紅陵高等学校の教頭と
して勤めさせていただき、
今年度4月1日より校長を
拝命いたしました。よろし
くお願ひいたします。

教頭と校長の大きな相違の一つに、生徒、保護者
及び職員の前で話す機会が圧倒的に増えたことが
あります。それぞれの言葉に意味を持たせ、端的に意
図を伝えなければなりません。選ぶ言葉を大事にし
ななければならぬとつくづく感じています。

先日、「言葉の重要性」を強く感じさせられた出来
事がありました。3月14日の高等学校入学者選抜
(いわゆる高校入試)、本校の合格者説明会において
のことです。合格者の皆さんと保護者の皆様に、本
校から入学に向けた様々な準備の説明をさせていた
きました。その中に、生徒指導主事から高校生と
しての心構えの話があったのですが、話が終わった
後に会場の皆さんから、自然発的に拍手が起きた
のです。本校の生徒指導主事は、生徒に熱く語る一
方で、寄り添う姿勢も欠かさないので、話に説得力
があります。しかし初対面の上、高校生活の在り方
を説いた話で拍手が起きたことには大変驚きました。
ただ、話の中の言葉の一つ一つが十分に吟味され、
合格者への歓迎と高校生活への期待が短時間内に凝
縮されていたので、皆さんの共感を呼び拍手につな
がったのだと理解できました。改めて「言葉の重要性」
を実感しました。

そこで、私の言葉選びです。まず4月1日の職員
会議で、先生方への挨拶で所信表明を含めて思いを
伝えなければなりません。私は先生方に向けて「継
続」との言葉にメッセージを込めました。2年前の
教頭着任時に、先生方から「紅陵高校を、生徒が誇
りに思うことができる学校にしたい」といった強い
思い・エネルギーを感じました。現在本校では、先生
方のその強い思い・エネルギーをベースに、生徒
に軸足を置いた様々な教育活動が展開されています。

第140号 令和7年5月2日発行
編集 岐阜県立土岐紅陵高等学校
TEL 0572(57)7131
<http://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/tokikoryo-hs>
責任者 PTA会長 加藤 美由紀

今年度は、これを「維持」ではなく、「継続」して欲
しいと伝えたのです。組織の新しいリーダーは、着
任すると「改革・改善」を掲げることがよくあります
が、私にとっては敢えてそれを掲げずとも、生徒
に軸足を置いて、変化することを厭わずチャレンジ
する姿勢を「継続」すれば、土岐紅陵高校が益々輝
く信じて、先生方にこの言葉をお伝えしました。

そして迎えた4月8日午前の始業式では、2・3
年生に次のように話をしました。「今、土岐紅陵高
校は、元気で勢いのある学校である。この学校の生
徒、そして先生方のことを、私は岐阜県内の誰よりも
知っている。そして、誰よりも土岐紅陵高校の進
むべき道を知っている。そのサポートをすることが
私の使命である」と。生徒の皆さんのが、安心して学
校生活を過ごし、紅陵高校を誇りに思うことができる
ように、全力で支援する意思を言葉に込めました。

午後の入学式は、希望と不安を胸に高校生活をス
タートする新入生とその保護者の方々に、高校生活
で身に着けてほしい<視点>について話をしました。
私が先輩教員から受けた【見えないところが見える
人あれ】との教えです。今年度の入学式当日は、
見事に校地内の桜が咲き誇り、新入生の入学を歓迎
してくれました。ただし桜が開花するには、半年以
上の前年夏に花芽をつけることから始まり、休眠
状態を経て徐々に高くなる気温に合わせて休眠打破
と段階を踏みます。そして開花となります。この桜
開花のメカニズムから学ぶことができるは、華や
かな一面にだけ目を奪われてはいけないということ
です。今この時だけではなく、今に至るまでの見え
なかつた準備過程にも意味があり、そこにも思いを
巡らせたいとの教訓です。【見えないところが見える】
とはそういう<視点>であることをお伝えしました。

私には今年度から、話す言葉に意味を持たせ、思
いを乗せ、端的に意図を伝える責務があるのだと肝
に銘じております。本日のPTA総会を含め、様々
な場面でお話をさせていただきます。選ぶ言葉を大
事にし、さらに言葉には「感情」を込め、「言葉の重
要性」を十分に理解して生徒の皆さん及び保護者の
皆様とお話をさせていただきます。

入学おめでとう！

各地では桜の開花とともに、春のお祭りが行われる季節となりました。4月8日、本校の校庭の桜も咲き誇り、鳥のさえずりが春のさわやかさをいっそう際立たせ、新入生を迎えるにふさわしい日となりました。真新しい制服を着た新入生が、喜びと緊張感の入り交じった表情で登校してきました。

午後1時、男子32名、女子47名の新1年生を迎えて、入学式が挙行されました。木澤校長より入学許可宣言がなされた後、厳粛な中にも心温まる歓迎の言葉がかけられました。そして、新入生代表の柳澤真妃さんが、力強く入学の宣言をしました。下の写真はその時の様子です。

29年目に入った総合学科の新入生に、中学生までの自分、そして、これからの中学生を、どのように捉えているのか作文にしてもらいました。2名の作文を紹介します。



これまでの私 これからの私

1年1組11番 小林柚菜

私は中学校生活の中で、毎年必ず何かのリーダーとしての役割を果たしてきました。学級委員や委員長など、人の前に立ってみんなを引っ張る立場になることは簡単なことではありませんでしたが、その分やりがいも大きく、自分を成長させる良い経験になりました。

また、勉強においても、自分の納得できる結果が出せるように、自習室を活用して努力を重ねました。とくに受検前は、毎日コツコツと勉強を積み重ねた結果、第一志望の高校に合格することができました。努力を見ていてくれた仲間たちからの信頼を得られたことも大きな自信につながりました。

高校では、中学一年生のころからの夢である「韓国やハングルに関わる仕事」に近づくための第一歩として、質の高い勉強を心がけていきたいと思っています。二年生から始まる選択科目ではハングル語を選び、基礎からしっかりと学びたいです。そして、将来の進路を見据えながら、毎日の授業や課題にも全力で取り組みたいです。

高校生活では新しい環境の中で戸惑うこともあると思いますが、中学校で得た経験と自信をもとに自分の夢に向かって、一歩ずつ着実に進んでいきたいと思います。そのために、毎日の小さな努力も大切にしていきたいです。

1年3組6番 片野美空

私が中学校で一番頑張ったことは、二つのことに挑戦したことです。

一つ目は、私の主張大会でのスピーチについてです。この大会は、多くの人の前で自分の考えや意見を発表する場であり、正直始めはとても緊張しました。しかし、スピーチの準備を通じて自分の意見を整理し、表現する力を磨くことができました。この経験は、自信を持って自分の考えを伝える大切さを教えてくれました。

二つ目は、税についての作文に挑戦したことです。税に関するテーマは普段あまり考える機会がなく、最初は何から始めていいのか分かりませんでした。しかし、調べ学びながら、自分の考えを文章にまとめる作業はとても充実したものでした。そして、思いがけず良い賞をいただくことができ、とてもうれしかったです。この経験を通じて、努力や挑戦が結果に結びつくことを実感し、自分自身の成長を感じました。

これから高校に進学するにあたって、私は「責任をもって最後までやり切ること」を心がけて頑張りたいと思っています。高校生活は中学校に比べて、より多くの選択肢や自由がありますが、その分、自分自身が責任を持つことが求められます。なので私は、常に自分の行動に責任を持ち、最後までやり遂げる意思を大切にしたいです。これにより、自分自身が成長できるだけでなく、周りの人々にも良い影響を与えられる存在になりたいと思います。

中学校での経験を活かしつつ、高校では责任感を持ち、挑戦し続ける自分をつくり上げていきたいです。これからの高校生活を通じて、多くの成長と出会いが待っていることを楽しみにしています。私は、自らの目標に向かって努力し続け、充実した高校生活を送れるように頑張りたいです。

学級担任

		1年	2年	3年
学年主任		福井 恵一	細川 万穂	加藤 健二
1組	正副	山田 仁美 三宅 李乃	細井 祐花 濱田 真成	内山 久子 井上 裕美子
2組	正副	小田中 悠真 高橋 俊和	花井 明日香 加藤 緑	坂野 未来 薄田 直樹
3組	正副	堅野 菜月 白川 功貴	内記 康希 田内 香織	伊藤 翔真 田嶋 大樹
学年付副担任		高橋 廣和	石崎 吉一	稻垣 あけみ
		続木 紀美子	高森 賢	大霜 海斗
		安藤 みゆき	鈴木 茂博	



演劇ワークショップ

部活動顧問

茶道	山田仁美 稲垣あけみ <野々村勉>
吹奏楽	細井祐花 高橋俊和
美術	井上裕美子 内山久子
漫画研究	鈴木茂博 堅野菜月 <肥田有香>
演劇	花井明日香 大宮学
卓球	加藤健二 安藤みゆき
バスケットボール	福井恵一 坂野未来
バレーボール	白川功貴 田嶋大樹 高橋 廣和
弓道	石崎吉一 三宅李乃 <虎澤敏彦>
野球	内記康希 小田中悠真 金子浩隆 (伊藤翔真)
ウエイトリフティング	伊藤翔真 細川万穂 続木紀美子 <戸松伸隆>
サッカー	坂崎陽祐 大霜海斗
能力開花	高森 賢
eスポーツ	田内香織 薄田直樹

< >は部活動非常勤講師



課題解決発表会



転出・退職された先生方

野々村 健	商	業	退職
貝川 和生	実習助手		退職
田中 誠二	校長	多治見北高等学校	
荻曾 翔	保健体育	加茂農林高等学校	
佐藤 純子	英語	可児工業高等学校	
窪田 梨紗	事務	東濃保健所	

新転任の先生方紹介

①教科 ②前任校

清水 香織 教頭

① 国語 ② 多治見高等学校



多治見高等学校より異動してきました。始業式での元気な笑顔、温かな拍手に、土岐紅陵高校の生徒が大好きになりました。皆さんのためにできることを、一生懸命させていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

三宅 李乃 先生

① 国語 ② 新規採用



新規採用で常勤講師としてお世話になります。不安なこともあります。皆さんと学校生活がとても楽しみです。

高森 賢先生

① 保健体育 ②



中津川工業高等学校

中津川工業高校より異動してきました。よろしくお願ひします。

花井 明日香先生

① 芸術 ② 新規採用



今年度よりお世話になります。新しい環境に早く慣れるよう楽しく全力で頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。

高橋 廣和先生

① 英語 ② 恵那高等学校



恵那高校より異動してきました。20数年ぶりに土岐紅陵に帰つてきました。ゆっくりとできることをできるようにやつていきたいと考えています。よろしくお願いします。

内記 康希先生

① 商業 ② 東濃実業高等学校



東濃実業高校より異動してきました。少しでも生徒の成長に貢献できるように全力を尽くし、何事にも情熱をもって取り組みたいと思います。よろしくお願いします。

大霜 海斗先生

① 総合学科実習助手 ② 新規採用助手



新規採用の総合実習助手としてお世話になります。分からぬことばかりですが、自分の全力を常に出し切り生徒に寄り添えるよう取り組みたいと思います。よろしくお願ひいたします。

市原 幸胤先生

① 事務 ② 中津川工業高等学校



中津川工業高等学校から異動してきました。微力ながら環境整備の面から生徒の皆さんのお力になればと思っております。よろしくお願ひします。